

小学部 2 年児童が
iPadのひらがなアプリを利用
して平仮名を書くための指導

指導目標

【長期目標】

平仮名清音47音を視写で書くことができる。

【短期目標】

平仮名清音26音を視写で書くことができる。

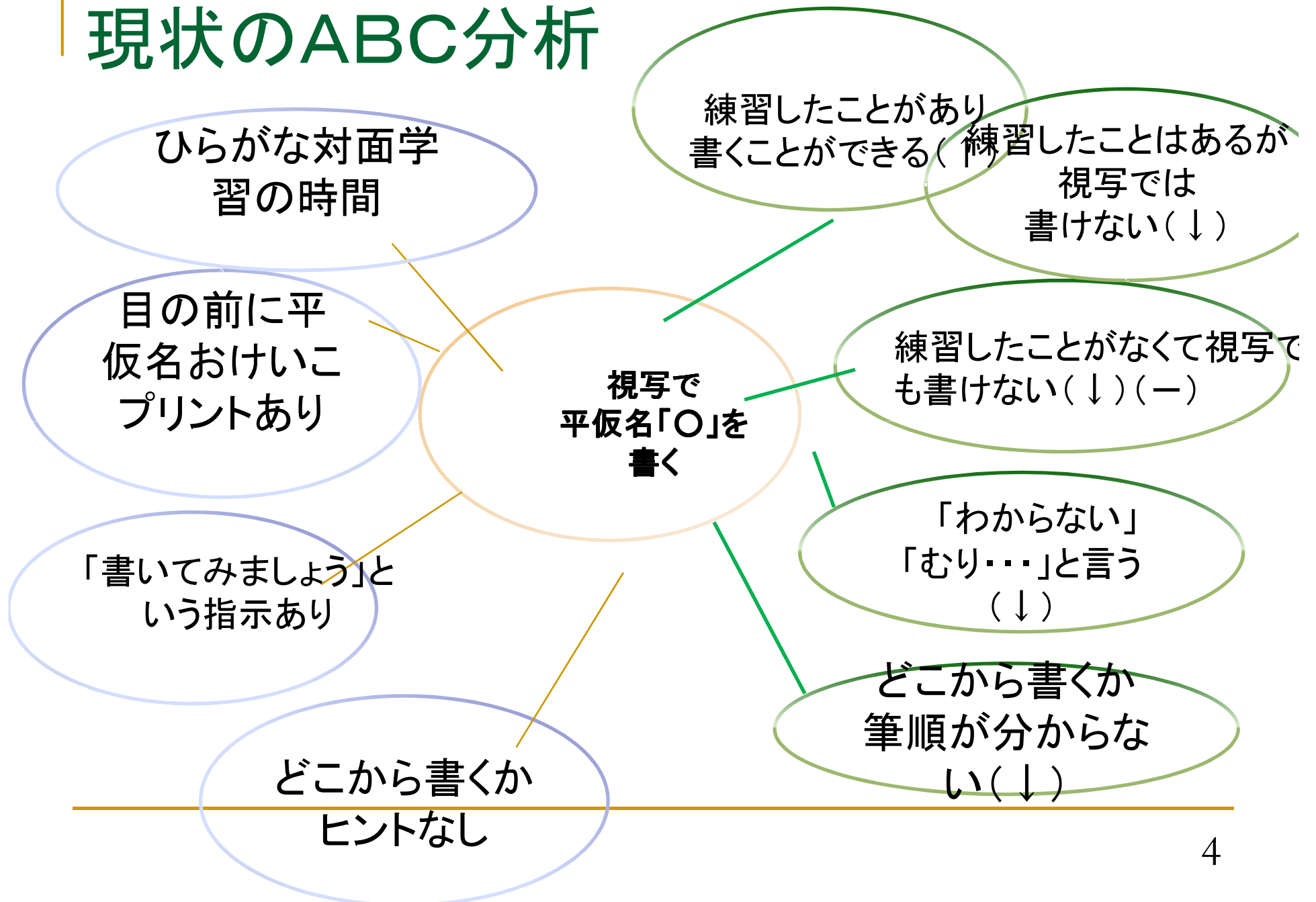
ん	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
		り		み	ひ	に	ち	し	き	い
		る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う
		れ		め	へ	ね	て	せ	け	え
	を	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お

標的行動

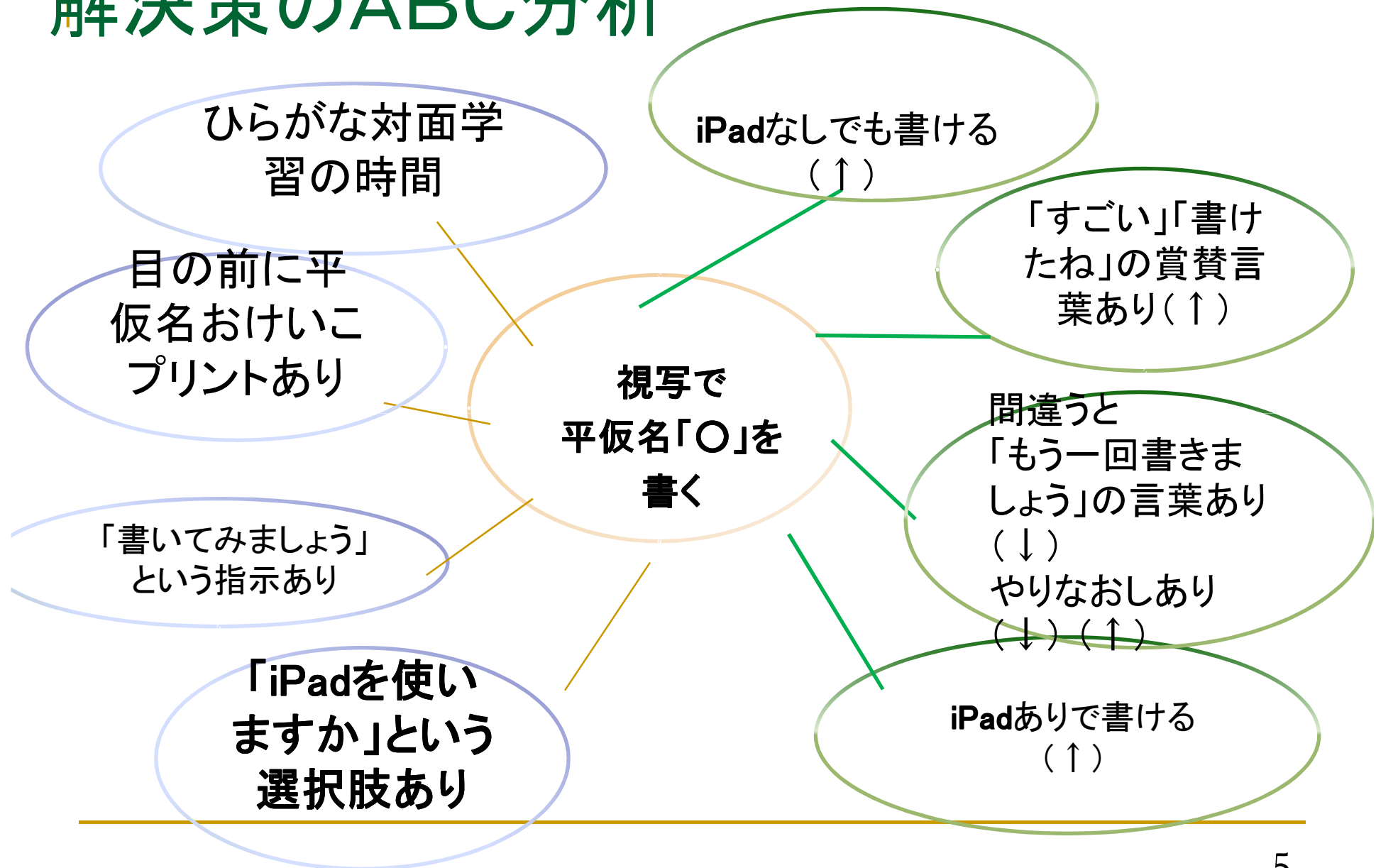
- ・『ひらがなのれんしゅう』(青葉出版)プリントで,その日に習う一文字について,十字点線付き32mm×32mmマス目の中に,なぞり線や始点・終点のヒントなしに書くことができる。



現状のABC分析



解決策のABC分析



方法

【対象児】

A児（支援学校小学部2年男児）

知的障害

WISC-3 全検査52 言語性63 動作性48

（H24. 7. 6）

【指導場面】

ひらがなの対面学習の時間（週3回）15分

【般化場面】

学級での自立課題で、ひらがな清音30音を視写で書くことができる

【教材】

- ・新版「ひらがなのれんしゅう」プリント(青葉出版)
- ・2Bの鉛筆
- ・iPad
- ・iPadアプリ「こどもゆびドリルひらがな」
(NEXTBOOK)

手続き(1)

【事前情報】

1年生の時, 自分の名前の「い」「う」「え」「く」「き」「と」「た」「も」の平仮名書字を学習し, 「え」以外は視写で書ける。

手続き(2)

プリントを子どもの前に置く

『iPadを使いますか?』と聞く

使わないとき

プリントを実施する

平仮名を書く

使うとき

iPadひらがなアプリをたちあげる

子どもに課題の文字を選ばせる

選ぶ 『そうだね, 今日はこの字だね』と賞賛する

アプリでなぞり書きの映像を見せる

子どもに平仮名をなぞらせる

書けたとき

アプリ上に保存してペン
でなぞらせる

書けなかったとき

もう一度なぞらせる

記録方法

- ・ 視写のマス目において、正しく書けたら○
視写のマス目において、間違ったら×
 - * 正誤判定は、手本の文字から上下左右10%内で
線の長さや開き幅が収まっていることを規準とした。
- ・ 正答率をグラフにする。

達成基準・中止基準

- ・ 達成基準：正答率50%以上であれば次の文字に進む
- ・ 中止基準：正答率20%以下が連続2回以上

結果(1)

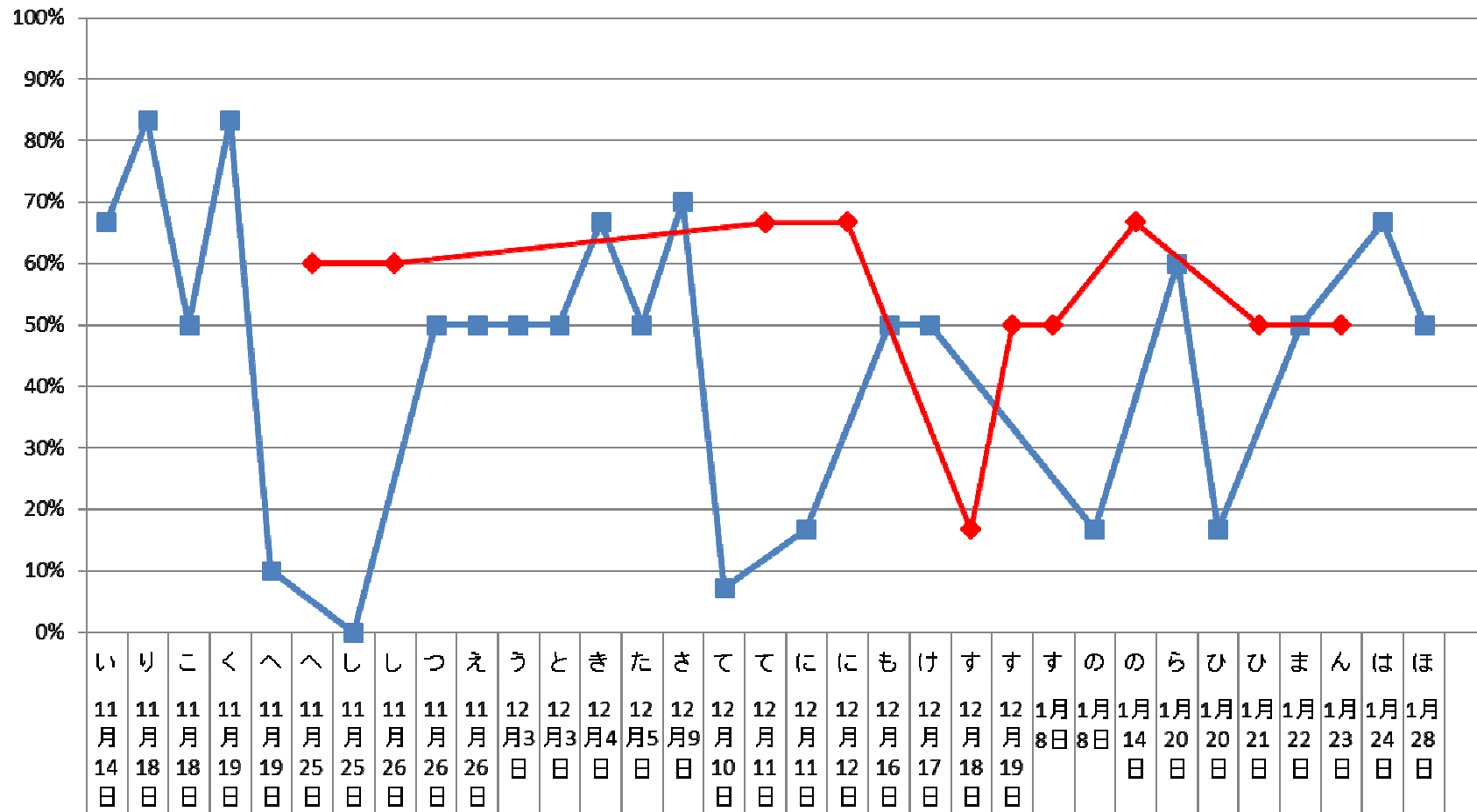


図 視写で書いた正答率

青 - iPadなし

赤 - iPadあり

結果(2)

- 2月3日の視写テストでは,指導前に書けた「い・う・き・く・た・と・も・ら」に加えて,「え・け・こ・さ・し・ち・つ・に・の・は・ま・ん」が書けた。
- 「へ・て・す」は,iPadでの学習後正答率が60%以上になったが,テストでは書けなかった。
- 「ほ」は, iPadなしで正答率50%であったが,テストでは書けなかった。

考察(1)

- 書き順がカラーで示されており,なぞりの練習をしたうえで視写課題がある本プリントは本児には書きやすい教材であった。
- iPadは,自分が書くことに自信のない平仮名を練習するときには,有効であった。
- なぞり書きにおいても視写書きにおいても書いた直後1秒後に「できた」「かけた」という賞賛は,本児にとって強力な好子になっている。

今後の課題

- 視写で書けるようになるには,さらにその文字が書けるための斜めの線や曲がりの線など基本の線を書く練習が必要である。